GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

1.早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	産業競争力基盤強化商品
	対象	SAF

2.具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	SAF
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	当社は、国土交通省より認定を受けた「航空運送事業脱炭素化推進計画」に基づき、自社運航便の消費燃料の10%以上をSAFへ置き換える調達・使用を推進します。これにより、環境負荷を低減した航空輸送サービスを実現するとともに、SAF需要の拡大と社会実装に貢献します。

3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	SAF
削減対象	Scope 1
目標年度	2030年度
基準年度	2019年度
目標削減率	10%

削減目標における選択対象の位置づけ	ANAグループでは、2030年度のCO2排出量削減（2019年度比10%削減）に向けた施策のひとつとして、「SAFの活用など航空燃料の低炭素化」を掲げています。加えて、以下の2つの施策を「収支バランスの最適化」を前提に推進します。 • 運航上の改善・航空機などの技術革新 • 排出権取引制度（排出枠・カーボンクレジット等）の活用

5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	SAF
目標年度	2030年度
定量的目標	消費燃料の10%
選択対象に関する定量的目標の概要	2030年度までに、ANAグループ運航便の航空燃料使用量の10%以上をSAFへ置き換えることを目指します。ただし、本目標は2030年時点においてSAFのCO2削減量あたりの価格が十分に低廉化することを前提としており、通常のジェット燃料と著しい価格差が存続する場合や、市場全体の供給量不足等により調達が困難な場合は、経営上の合理性および調達環境を踏まえ、導入目標や計画の見直しを行うことがあります。当社は関係省庁やサプライヤーと連携し、需要創出と課題解決に向けた取り組みを推進します。

6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	子会社

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2026年10月16日

ANAホールディングス株式会社

上席執行役員 寺川 直宏